

東洋大学東洋学研究所・国際禅研究プロジェクト 共催

国際禅研究プロジェクト研究会（第Ⅱ部会第5回）

ならびに

黄青萍先生 特別講演会



日 時：2018年1月27日（土）

会 場：東洋大学第3会議室
（白山キャンパス6号館1階）

プログラム：

1. 館隆志氏（東洋大学東洋学研究所客員研究員）研究発表（14:30-16:00）

論題：「兀庵普寧の来日と日中禅僧の交流」

2. 黄青萍氏（銘伝大学助理教授）講演会（16:20-17:50）

演題：「敦煌文献中的北宗禅及其研究價值」

黄青萍氏：台湾における敦煌禅宗文献研究の第一人者。『敦煌北宗文本的價值及其禅法』で台湾師範大学から博士の学位を受けた後、銘伝大学等で研究を続ける。「敦煌禅籍的發現對中國禅宗史研究的影響」（2007年）、「敦煌寫本《圓明論》與《阿摩羅識》初探—以傳圖 188106 號爲中心」（2013年）、「關於北宗禅的研究—五方便門寫本及其禅法」（2016年）など多くの関連論文がある。

お問い合わせ：03-3945-7401（国際禅研究プロジェクト）

kokusaizenkenkyuproject@gmail.com

※ 国際禅研究プロジェクトのホームページを開設しました。最新情報は下記をご参照下さい。

<http://www2.toyo.ac.jp/~ibuki/kokuzenken/index.html>